

論文 / 著書情報  
Article / Book Information

|                   |                                                                                                                                                                                            |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 題目(和文)            |                                                                                                                                                                                            |
| Title(English)    | Assessment of Airline-Airport Cooperation under Liberalization: A Network Model Approach and Perspectives from Southeast Asia                                                              |
| 著者(和文)            | SARASWATIBATARI                                                                                                                                                                            |
| Author(English)   | Batari Saraswati                                                                                                                                                                           |
| 出典(和文)            | 学位:博士(学術),<br>学位授与機関:東京工業大学,<br>報告番号:甲第9575号,<br>授与年月日:2014年3月26日,<br>学位の種別:課程博士,<br>審査員:花岡 伸也,高田 潤一,屋井 鉄雄,室町 泰徳,福田 大輔                                                                     |
| Citation(English) | Degree:Doctor (Academic),<br>Conferring organization: Tokyo Institute of Technology,<br>Report number:甲第9575号,<br>Conferred date:2014/3/26,<br>Degree Type:Course doctor,<br>Examiner:,,,, |
| 学位種別(和文)          | 博士論文                                                                                                                                                                                       |
| Category(English) | Doctoral Thesis                                                                                                                                                                            |
| 種別(和文)            | 審査の要旨                                                                                                                                                                                      |
| Type(English)     | Exam Summary                                                                                                                                                                               |

(博士課程)

## 論文審査の要旨及び審査員

| 報告番号        | 甲第  | 号     | 学位申請者氏名 | Batari Saraswati |       |     |
|-------------|-----|-------|---------|------------------|-------|-----|
| 論文審査<br>審査員 |     | 氏 名   | 職 名     |                  | 氏 名   | 職 名 |
|             | 主査  | 花岡 伸也 | 准教授     | 審査員              | 福田 大輔 | 准教授 |
|             | 審査員 | 高田 潤一 | 教授      |                  |       |     |
|             |     | 屋井 鉄雄 | 教授      |                  |       |     |
|             |     | 室町 泰徳 | 准教授     |                  |       |     |

### 論文審査の要旨（2000 字程度）

本論文は、Assessment of Airline-Airport Cooperation under Liberalization: A Network Model Approach and Perspectives from Southeast Asia と題し、英文で書かれ、全 6 章で構成されている。

第 1 章（Introduction）では、本論文の背景として、東南アジアで航空自由化政策が進められ、航空会社間および空港間の競争が激しくなる中で、航空会社と空港の協力関係がより緊密になっていることを指摘し、①複数の航空会社・空港の競争環境を考慮した商業収入シェアによる協力関係のモデル化と東南アジアを事例とした分析、②東南アジアにおける航空自由化進展状況の分析、③東南アジアにおける航空会社と空港の協力関係の実践状況の分析、という本論文の 3 つの目的を述べている。

第 2 章（Review on Airline-Airport Cooperation）では、航空自由化のインパクトおよび航空会社と空港の協力関係の形態と種類について整理している。また、航空会社と空港の協力関係を分析した従来研究と比較して、本論文のモデルは、協力する航空会社と空港のパートナーがモデルの出力として内生的に決定する点に新規性があることを示している。

第 3 章（Airline-Airport Cooperation Model under Commercial Revenue Sharing）では、複数の航空会社と空港の商業収入シェアによる協力関係を、2 段階ゲーム理論を用いてモデル化している。モデルでは、第 1 段階で空港が利潤最大化に基づいて協力する航空会社を選択し、第 2 段階で航空会社が利潤最大化する運賃と便数を決定する。そして、旅客の消費者余剰と合わせた社会的厚生を最大化する協力関係を均衡解として出力する。東南アジアの 3 空港と 3 航空会社を事例として商業収入シェアのインパクトを分析した結果、①空港の航空系収入と商業収入の補完性による航空会社と空港の総利潤増加の可能性、②支配的航空会社の運賃低下による旅客の余剰の増加、③各空港の支配的航空会社の利潤増加と他の航空会社の利潤低下、④航空会社間の競争を阻害する可能性、⑤空港に容量制約があると総利潤増加は限定的、という知見を得た。

第 4 章（Air Transport Liberalization Policy in Southeast Asia）では、東南アジアの航空自由化進展状況を精査し、2015 年末までの ASEAN 単一航空市場実現の目標は定められているものの、自由化政策の実施状況と効果はまだ限定的であることや、インドネシアとフィリピンは ASEAN 域内航空会社間の自由競争に抵抗があり、一部の協定に同意していないことを明らかにしている。

第 5 章（Airline-Airport Cooperation in Southeast Asia: Practices and Policy Implications）では、航空会社と空港の協力関係の実践状況を分析し、東南アジアの主要空港は母国のいずれかの航空会社と何らかの形態で協力関係にあることを示し、利用旅客数の多い 51 空港のうち、35 空港が支配的航空会社に対して路線開拓などのインセンティブ制度を提供していることを明らかにしている。その一方で、反競争的なこれらの行動に対して、東南アジアで十分な法的整備ができていないことを指摘している。

第 6 章（Summary and Conclusion）では、本論文の結論と成果を整理し、今後の研究の発展可能性について論じている。

以上を要するに、本論文は、東南アジアを事例として航空会社と空港の協力関係を整理し、商業収入シェアによる協力関係のモデル化とその分析により、航空会社と空港の協力がもたらすインパクトを明らかにし、航空自由化との関係や協力関係の実践状況を解明しており、学術上貢献するところが大きい。したがって、博士（学術）の学位論文として十分価値のあるものと認められる。